

日本内分泌外科学会

Japan Association of Endocrine Surgeons



News Letter — June 2006, No.1

ホームページが充実しました。
情報提供の場です。是非御活用下さい。
<http://jaes.umin.ac.jp/>

日本内分泌外科学会理事長就任のご挨拶
日本内分泌外科学会理事長退任の辞
第18回日本内分泌外科学会総会を終えて
第39回日本内分泌外科学会理事会議事録
第40回日本内分泌外科学会理事会議事録
平成18年度日本内分泌外科学会新理事会議事録
日本内分泌外科学会役員(2006年5月～2008年4月)一覧
第1回日本内分泌外科学会賞を受賞して
第1回日本内分泌外科学会研究奨励賞を受賞して
編集後記



<http://jaes.umin.ac.jp/>

日本内分泌外科学会理事長就任のご挨拶



帝京大学医学部外科
高見 博

2006年の第18回本学会終了後より2年間、第七代理事長に就任いたすことになりました。本学会は1989年に発足し、18回の学術集会の歴史を持ち、内分泌外科の発展の中心的役割を果たしてきました。その学会の理事長を務めさせていただくのは心より光栄に浴するとともに、責任の重さを痛感いたしております。会員の皆様には本学会が医学、医療、社会面でさらに高い評価が受けられますようご活動いただき、皆様にもその自覚をしていただき、ご尽力くださいますようお願いいたします。

さて、この3年間は慶應義塾大学医学部泌尿器科 村井 勝教授が理事長として、本学会を指導されてきました。村井理事長のご業績は多くありますが、その中の一つに選挙制度による役員選出があります。評議員の投票により理事・監事が選出され、理事の選挙により理事長が選出される制度です。この制度により、より民主的で公平、かつ会員に活力を与えることができるようになると思います。それが本学会の真の意味での発展につながると考えております。また、学会賞、研究奨励賞の創設も会員の活性化の一助になります。

そのように村井理事長の下で進化してきました本学会をさらに力強くし、会員の皆様には種々の利益が享受できるようにいたす所存でございますので、ご指導、ご協力くださいますよう宜しくお願い申し上げます。

日本内分泌外科学会理事長退任の辞



慶應義塾大学医学部泌尿器科
村井 勝

本年5月12日、13日の両日開催された第18回日本内分泌外科学会学術集会(総会)をもって、3年間務めさせていただきました理事長職を終了いたしました。皆様ご存知のように本学会は、内分泌外科学に関する研究・臨床の向上をめざし、1988年4月に藤本吉秀初代理事長が中心となり設立されました。その後、原田種一先生、高井新一郎先生、小原孝男先生、さらに高見博先生と学会の指導的立場にある先生方が理事長となり本学会の運営にあたってこられました。3年前、泌尿器科医としては初めて私がお任を担うこととなりました。外科領域を中心とする内分泌外科医、さらに内分泌病理医、内分泌内科医との連携を通して本学会の発展、また内分泌外科学の向上をはかることを目指してまいりましたが、本学会にとってこの3年間にはいくつかの大きな変化がありました。

第一に、会員管理を委託していた財団法人日本学会事務センターが突然破産し、本学会も多くの他学会同様、事務管理、財政の両面から損失を被りました。幸い会員諸兄のご理解とご協力により、ようやく会員管理データの修復など事務局機能も落ち着きつつあります。

第二に、平成17年度には役員(理事・監事)の選任に際し、役員の新任も可能とする選挙制度の導入を骨子とする会則の改訂を行い、評議員の投票による役員選挙が施行されました。そして選出された10名の新理事の中から立候補制による理事長の投票が行われ、高見博新理事長が選出され、評議員会・総会における承認を経て第七代理事長に就任いたしました。

第三に、長年の懸案であった学会賞、研究奨励賞についても第17回総会でその創設が決定されました。本学会の発展に寄与し、学術業績の優れた会員のための学会賞(満55歳以下)には4名の推薦が、研究奨励賞(満40歳以下)には3名の推薦が寄せられました。受賞者は選考委員会で厳正な選考の後、理事会・評議員会で承認され、総会で表彰されました。平成17年度日本内分泌外科学会賞は舟橋啓臣会長による今回の学術集会で、同門の今井常夫先生(名古屋大学大学院)に授与されましたことは、本学会にとりまして、また伝統ある名古屋大学第二外科にとりまして大変意義深い事でありました。

内分泌外科医は国際的にもIAES(International Association of Endocrine Surgery)の例をひくまでもなく、仲間意識が強く、また専門性の高い集団といわれています。日本内分泌外科学会もこれまで先人のご努力で諸外国でも高い評価を得てまいりました。今後、これまでの歴史を踏まえ、真に内分泌外科学の向上を考えるためには、専門医制度の検討や学会誌の充実などの他に事務局やホームページの拡充など問題が山積しております。これら諸懸案の解決を再度本学会のリーダーとなられました高見新理事長に期待し、私も会員諸兄と共に協力する所存です。

この3年間 会員の皆様に温かいご支援、ご協力、さらにご指導を賜りましたことを深く感謝申し上げ、理事長退任の挨拶とさせていただきます。

第18回日本内分泌外科学会総会を終えて

岐阜県立多治見病院 舟橋 啓臣



「童心」による和太鼓演奏をバックに、高見博 新理事長(右)とともに

先日の第18回日本内分泌外科学会総会の折には、絶大なるご支援を賜りまして誠に有難うございました。至らない点は数々あったと思いますが、ご容赦願います。お蔭様で大過なく終了することが出来、ひとまずほっとしているところです。

学術集会では、教育講演で高見 博理事長のすばらしいご講演を聞いたこと、パネルディスカッションや要望演題ではホットな討論がなされたことなど、皆さんのご協力に心から感謝いたします。

さて、今回はこの他に幾つかの新たな試みを取り入れてみました。まずはロケーションです。地方の町で本当に出来るのだろうか、と不安でした。しかし、今回選んだ会場は、私も一見してここしかない！と感じた場所でした。周りに広がる一帯の緑、鳥のさえずり、眼前の流れ落ちる水、備え付けの茶室や作陶室、なによりもこの学会にうってつけと感じたのは口演会場ホールの広さ、そして大きな展示ルーム、名古屋で乗り継ぎはあるものの、30分近くという地の利でした。参加された先生方からは、良い会場であるとのお褒めの言葉を何回か耳にして安心しました。

会長招宴は会場としていつもと趣を異にした温泉旅館を選びました。入浴の時間を取るように会議の時間帯も工夫しました。宴会では研修医達に頼んで参加してもらいました。やってくれるか、はい、の一言で簡単に決まりました。いい子ばかりです。皆さんに良いアイデアと好評だったことを喜んでおります。

私にとって全員懇親会の和太鼓は念願のものでしたので、雨をずっと心配していました。運よく野外で演奏が出来、魂を揺さぶるような響きを楽しんでもらえ

ました。飛騨高山から来てくれた「童心」というアマチュアの和太鼓演奏団で、私の熱意にほだされて最も大きな太鼓も用意してくれたものです。きっと皆さんも私同様に胸を熱くしながら聴いておられたことと確信しております。

特別講演は多くは海外の演者を招いて、医学的なお話をしてもらいますが、今回は「和」をテーマとしたことから、海外の演者は招かず、しかも、建築に関するお話というユニークな企画としました。抄録集では詳しくご紹介できなかったため、参加された先生方はあまり多くはなかったのですが、講演を聴かれた方からは口々に「おもしろかった」とのお言葉を聞き、この企画もまずまずであったものと考えております。

名古屋のトヨタも展示ルームに3台の新車と2台のi-unitを用意して応援してくれました。多くの方が試乗を楽しまれたことと思います。

このように今回の学会では私なりに新しい試みを幾つか企画しましたが、これは本学会の活性化を狙ったものであります。学会員と学会参加者の増加を何とか図れないかという一心で、ややもすれば固くなりがちな学会の雰囲気を和らげるように努力した積もりです。幾つも心配な点があったのですが、皆さんに和気あいあいとした雰囲気を味わって頂く中で学会が無事に終えることができました。これは、私の出身母体である名古屋大学第二外科乳腺・内分泌外科グループを始め、私の周りの大勢の方々の温かいご協力、ご支援の賜物と、心から感謝しております。私も62歳、人生の大きな勲章ができたことを、大変嬉しく誇りに思っております。本当に有難うございました。



総会時に開催された評議員会にて

第39回日本甲状腺外科学会学術集会の御案内 (旧 甲状腺外科研究会)

会長 清水 一雄 (日本医科大学外科・内分泌外科)

会 期：2006年10月26日(木)～27日(金)

会 場：東京ドームホテル 地下1階 天空

URL：<http://www2.convention.co.jp/jsts-39>

メインテーマ：New era in thyroid surgery

プログラム案：

※プログラムはまだ確定ではございませんので、最新の情報は随時更新いたします。

シンポジウム1：低侵襲手術の現状と展望

シンポジウム2：世界に向け発信可能な甲状腺癌治療指針(エビデンス形成に必要な要素)

ワークショップ1：原発性副甲状腺機能亢進症における局所診断と術式

ワークショップ2：特異な状況下におけるバセドウ病の外科治療

問合せ先：第39回日本甲状腺外科学会学術集会準備室

日本コンベンションサービス株式会社 内

メディカルカンパニー 担当：池田大輔

E-mail:jsts-39@convention.co.jp

第39回日本内分泌外科学会理事会議事録

日 時：平成18年3月18日(土)14:00～16:00

会 場：八重洲倶楽部 第11会議室

出席役員：村井 勝(理事長)，高見 博(監事)，岩瀬克己，小原孝男，清水一雄，
園尾博司，舟橋啓臣，松田公志，宮内 昭
欠席役員：今村正之，奥山明彦(監事)，木村 理，久保敦司，郡健二郎，佐々木巖，
野口眞三郎(委任状提出) (敬称略)

審議に先立ち、議事録署名人として岩瀬克己理事，高見 博監事が選任された。

[報告事項]

1) 会員状況報告

①平成18年2月28日現在の会員数は以下の通りである。

名誉会員：27名，特別会員：46名，評議員：193名，一般会員：859名

(会員総数：1,125名)

②前回理事会開催時から平成18年2月28日までに報告された逝去会員(下記1名)に対して黙祷を捧げた。

峠 哲哉先生(評議員)

2) 第17回総会の報告

小原孝男前会長より第17回学術総会が平成17年4月17日から19日まで開催され，無事終了した旨，報告された。

3) 第18回総会の準備状況

舟橋啓臣会長より第18回総会(平成18年5月11日から13日まで，岐阜県多治見市セラミックパークMINO，他)の開催概要，準備状況の説明があった。また舟橋会長より，故・小池明彦名誉会員令夫人より本学会に対する寄付金の申し出があった旨，報告された。小原理事より本学会総会にて外科学会への単位申請システム(後日外科学会にオンライン上で単位申請ができるID)の利用の提案がなされ，今総会で利用できるか検討することとなった。

4) 平成17年度会計中間報告

平成18年2月末日現在の17年度会計の中間報告がなされた。

5) 各委員会報告

①清水一雄庶務渉外・国際協調委員長より本年3月12日～15日，香港にて第10回アジア内分泌外科学会が無事終了した旨報告があった。第11回アジア内分泌外科学会は2008年にマレーシア・コタキナバルにて開催予定。

②小原医療保健委員長より外保連より診療報酬点数は全体的に上昇した旨報告があった。

6) 社会保険診療報酬に関する改訂要望書

平成18年度の診療報酬大幅改訂についての外保連活動の報告とともに，村井理事長，小原理事より本学会からの外保連委員の交代の提案がなされ，検討課題とされた。

7) 機関誌「内分泌外科」の編集，発行

「内分泌外科」22巻1号～4号が発行された旨報告があった。

8) その他

①村井理事長より外科学会非選挙評議員として当学会より岩瀬理事及び園尾理事を推薦した旨報告された。

②多くの学会員に執筆して頂いた「内分泌外科標準テキスト」が医学書院より近く発刊予定の旨報告された。

[審議事項]

1)次期副会長について

3月末日まで立候補者を募ることが確認された。現時点で佐々木巖理事より立候補の意志が表明されていると報告された。

2)名誉・特別会員の承認

名誉会員として今村正之を、特別会員として相吉悠治、小林俊三、須加野誠治、鈴木康紀、高橋良和、東間 紘、鳥屋城男、野村芳雄、真崎善二郎、松塚文夫(敬称略)の合計11名が推戴された。

3)評議員再任の承認

昨年の会則改正に伴い、全ての評議員を等しく再任すべきという意見が出されたが、旧会則で選任された現評議員をその任期の終了に従い順次再任して行くこととした。また、再任に際し、2年以上の会費滞納がある場合には、再任しない旨も合わせて確認された。

4)新任評議員の承認

三浦大周、松岡 慎、山下啓子、小川利久、宮 章博、伊藤康弘、高村勇貴、宮嶋 哲(敬称略)の合計8名が承認された。

5)学会賞及び研究奨励賞の選考

平成17年度学会賞に今井常夫、研究奨励賞に矢野由希子(敬称略)の受賞が承認された。受賞者には5月総会時に表彰の旨通知する。学会賞受賞者は5月13日(土)8:30~9:00に舟橋啓臣会長司会のもと、講演を行う旨通知することが確認された。

6)平成17年度最優秀論文賞について

編集委員によるアンケートの結果、

「副甲状腺機能低下が関節炎に伴う骨量低下に及ぼす影響」(内分秘外科22巻2号:100-106,2005)

武藤 亮(東北大学大学院)(敬称略)が最優秀と決定した。

7)平成18年度事業計画

①第19回総会の準備状況

郡健二郎副会長のもと、平成19年5月30日(水)~6月1日(金)に名古屋市名古屋東急ホテルにて開催予定。

②平成18年度機関誌「内分秘外科」の編集、発行

23巻4号の特集企画は5月総会時に再度検討する旨確認された。

③学会賞・研究奨励賞の表彰

申請・審査方法等、今年度を踏襲していくことが確認された。

④「内分秘外科」最優秀論文賞の表彰

⑤関連学会との協調

外科学会保険診療委員として当学会より岩瀬理事及び園尾理事を推薦する旨確認された。

⑥外科系学会社会保険委員会連合について

手術委員が伊藤悠基夫評議員より岡本高宏評議員へ、検査委員が北川亘評議員より村上三郎評議員へ変更した。

次回5月時理事会にて実務委員も含め、外保連各委員の変更を検討する旨確認された。

8)次期理事・監事選挙結果について

1月20日(金)~2月17日(金)に行われた次期役員選挙の開票結果が報告され、承認された。

理事：岩瀬克己、小原孝男、奥山明彦、郡健二郎、清水一雄、園尾博司、高見 博、松田公志、宮内 昭、
吉田 明

監事：舟橋啓臣、村井 勝

(敬称略)

9)その他

富永芳博評議員より提出された高カルシウム血症に対する調査に対し、学会として協力していく旨確認された。

第40回日本内分泌外科学会理事会議事録

日 時：2006年5月11日(木)12：30～14：30

会 場：多治見 まなびパークたじみ 6F 視聴覚室

出席役員：村井 勝(理事長)，奥山明彦，高見 博(監事)，岩瀬克己，小原孝男，郡健二郎，
佐々木巖，清水一雄，園尾博司，舟橋啓臣，松田公志，宮内 昭

欠席役員：今村正之，木村 理，久保敦司，野口眞三郎(委任状提出) (敬称略)

審議に先立ち，議事録署名人として奥山明彦，高見 博両監事が選任された。

[報告事項]

1) 第39回理事会議事録承認

3月に開催された第39回理事会議事録が全会一致で承認された。

2) 会員状況報告

①平成18年3月31日現在の会員数は以下の通りである。

名誉会員：27名，特別会員：45名，評議員：193名，一般会員：858名

(会員総数：1,123名)

②前回理事会開催時から平成18年3月31日までに報告された逝去会員(下記2名)に対して黙祷を捧げた。

江藤耕作先生(特別会員)

川原勝彦先生(正会員)

3) 第18回総会の報告

舟橋啓臣会長より第18回学術総会が岐阜県多治見市にて3日間開催される旨，報告された。

4) 平成17年度会計決算報告

平成17年度(平成17年4月1日～平成18年3月31日)会計決算報告(別添)がなされ，承認された。尚，会費納入率の低下が懸念され，納入の徹底化を図る旨確認された。

5) 故 小池明彦名誉会員よりの寄付金について

舟橋会長より4月17日に故 小池名誉会員より学会へ2,323,391円の寄付がなされた旨報告があった。今後，特別口座を開設し，有効利用を検討する旨確認がされた。

6) 各委員会報告

①清水一雄庶務渉外・国際協調委員長より本年3月12日～15日，香港にて第10回アジア内分泌外科学会が無事終了した旨報告があった。第11回アジア内分泌外科学会は2008年にマレーシア・コタキナバルにて開催予定。

②小原医療保健委員長より外保連より診療報酬点数は全体的に上昇した旨報告があった。

[審議事項]

1) 次期副会長の選出

立候補の表明をしていた佐々木巖理事が全会一致で承認され，理事会より推薦された。

2) 評議員再任の承認

名誉・特別会員及び評議員の再任に関して，会費完納を条件に理事会として推薦する旨，承認された。

3) 新任評議員の承認

前田茂人(敬称略)が推薦された。

4) 平成18年度事業計画

①第19回総会の準備状況

郡健二郎副会長より開催概要の説明があった。

会期：平成19年5月30日(水)～6月1日(金)

会場：名古屋市名古屋東急ホテル

②平成18年度機関誌「内分秘外科」の編集、発行

③国際学会との協調

④関連学会との協調

⑤外科系学社会保険委員会連合について

⑥会員名簿の作成

5)平成18年度収支予算の承認

平成17年度(平成18年4月1日～平成19年3月31日)の収支予算(別添)が村井理事長より提示され、承認された。

6)その他

学会のホームページの更新に関して審議がなされた。

平成18年度日本内分泌外科学会新理事会議事録

日時：平成18年5月13日(土)11:00-11:30

場所：多治見 セラミックパークMINO 1F 小会議室

出席役員：高見 博(理事長), 村井 勝(監事), 舟橋啓臣(監事), 岩瀬克己(以下, 理事), 小原孝男, 郡健二郎, 清水一雄, 園尾博司, 松田公志, 宮内 昭, 吉田 明, 木村 理(以下, 理事長推薦理事), 杉谷 巖
欠席役員：奥山明彦(理事), 佐々木巖(理事長推薦理事)

<報告事項>

- 1) 理事長推薦理事の件：木村 理, 佐々木巖, 杉谷 巖各理事の就任が確認された。

<審議事項>

- 1) 日本内分泌外科学会専門医制度について

専門医制度の創設には賛成意見で占められていたが, その制度については議論があった。清水理事は甲状腺, 副甲状腺, 副腎と分けて制度化するのが良い。岩瀬理事は三種をまとめた方が, 少なくとも自分の居場所をはっきりとさせたい。小原理事は三種をまとめて, 内分泌外科専門医とした方が良い。高見理事長は各理事の意見をまとめた形で, 日本内分泌外科学会と多くの会員が重複する日本甲状腺外科学会と歩調を合わせる必要がある。日本甲状腺外科学会への参加を本学会の専門医の点数に大きく加える。出身母体の専門医の資格を尊重する。日本外科学会では2階建て部分のサブスペシャリティと整合性をあわす。日本泌尿器科学会, 日本耳鼻咽喉科学会などの専門医取得者には本学会に入会後は短期間の活動で, 本学会の専門医になる資格を与えるのがよい, などの意見が出た。今回は第1回目の会合なので, 今後, 専門医制度検討委員会(委員長 高見 博, 副委員長 園尾博司)により議論されることとなった。

- 2) 各委員会担当理事：別紙の役員の表を参照されたい。
 - 3) 編集委員：別紙の役員の表を参照されたい。
-

日本内分泌外科学会役員

(2006年5月～2008年4月)

理事長

高見 博

理事

岩瀬 克己	奥山 明彦	小原 孝男	木村 理	郡 健二郎
佐々木 巖	清水 一雄	杉谷 巖	園尾 博司	松田 公志
宮内 昭	吉田 明			

監事

舟橋 啓臣 村井 勝

第19回学術集会会長

郡 健二郎

副会長

佐々木 巖

各委員会担当理事(◎は委員長)

[庶務渉外・国際協調]

◎清水 一雄 奥山 明彦

[財務会計]

◎岩瀬 克己 郡 健二郎

[人事選挙]

◎宮内 昭 松田 公志

[教育啓蒙]

◎木村 理 吉田 明

[医療保健]

◎小原 孝男 佐々木 巖

[規約見直し委員会]

◎園尾 博司 杉谷 巖

[編集]

◎高見 博	伊藤悠基夫*	今井 常夫*	岩瀬 克己	内野 眞也*
大内 憲明*	奥山 明彦	小川 利久*	小原 孝男	覚道 健一*
木村 理	河本 泉*	紅林 淳一*	郡 健二郎	佐々木 巖
茂松 直之*	芝 英一*	清水 一雄	杉谷 巖	鈴木 眞一*
園尾 博司	土井隆一郎*	野口眞三郎*	舟橋 啓臣	藤森 実*
松田 公志	三村 芳和*	宮内 昭	山下 弘幸*	

[編集顧問]

高井新一郎* 原田 種一* 藤本 吉秀*

*は会則第18条により任命された常置委員会の委員

第1回日本内分泌外科学会賞を受賞して

名古屋大学医学部附属病院乳腺・内分泌外科

今井 常夫



このたび、第1回日本内分泌外科学会賞を受賞させていただき、身に余る光栄であります。この賞を創設されました村井勝理理事長はじめ関係の諸先生方に厚く御礼申し上げます。1989年に第1回日本内分泌外科学会を藤本吉秀先生が開催され、そのときはじめて英語口演発表をさせていただいたもの、Prof. Norman Thompsonのコメントを聞き取れなかったことを今でも思い出します。そのとき以来、わたしはこの学会に育てていただいたと思っております。日本内分泌外科学会がますます発展するよう、微力ながら努力いたす所存であります。

第1回日本内分泌外科学会研究奨励賞を受賞して

筑波大学臨床医学系乳腺・甲状腺・内分泌外科

(現 伊藤病院外科)

矢野由希子



このたび日本内分泌外科学会研究奨励賞を授与していただき、まことに光栄です。日本内分泌外科学会の皆様、審査の諸先生方に深く感謝いたします。今回の研究は筑波大学人間総合科学研究科の下で進められました。臨床医学、基礎医学にご助力いただきました諸先生方にこの場をお借りし感謝の意を表します。受賞を機にさらなる発展、飛躍を目指して甲状腺疾患、内分泌疾患の研究を続け、努力していきたいと決意を新たにしております。

【日本内分泌外科学会入会手続きのお知らせ】

入会手続き：jaes@med.teikyo-u.ac.jpにメールし，入会申込書をご請求下さい。

ホームページは<http://jaes.umin.ac.jp/>をご覧ください。なお，異動などにより連絡先が変わられた場合は必ず事務局までご連絡下さい。

【年 会 費】

会員の皆様には後日，郵便振替用紙を送付いたしますので，よろしくお願ひ申し上げます(会費8,000円)。

会則第8条により，2年間会費非納入の会員は資格を失いますので，ご注意下さい。

編集後記

本学会員の自覚を持っていただくためにNews Letterを初めて作成しました。ホームページからも見られます。年2回をめぐりに作成していく予定です。

建設的なご意見をください。

理事長 高見 博

日本内分泌外科学会

理事長 高見 博

事務局：〒173-8605 東京都板橋区加賀2-11-1

帝京大学医学部外科 高見教授室

TEL 03-3964-1227 FAX 03-3962-2128

<http://jaes.umin.ac.jp/>